



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
プレイズリード：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	会衆
主の祈り			
プレイズ	「主イエス神の愛」 「主こそわが神」	会衆	会衆
聖書朗読	サムエル記上 16：5～13 (旧約聖書 p453)	司会	司会
祈禱	新生 363	司会	司会
賛美	「神を求める心」	会衆	牧師
メッセージ		牧師	牧師
祈禱		会衆	会衆
賛美	448		
聖餐			
献金			
報告		司会	司会
頌栄	新生 672b	会衆	会衆
祝禱		牧師	牧師



第二礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師
司会：渡真利彦文牧師

聖書：マタイ 13：10～23 (新約聖 p25)
メッセージ：「種を蒔く人」
プレイズ「あなたは」「慕い求めます」
賛美：新生 309 新生 385



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利彦文牧師

メッセージ：詩編 119：129～136
メッセージ：「光が射すと」

<巻頭言>

「主の恵み」 牧師 渡真利彦文
プライドという言葉には自分という存在を肯定的に考え、自分に自信を与え、自分を「誇る」意味があります。しかし、プライドは「おごり」へと変わる危険性を持っています。「誇り」と「おごり」の共通点は、心の中に隠されていて他人には分かりにくいことです。それを見分けるものは「謙遜」と言えます。

「私の恵みはあなたに十分である。」(コリント第二 12:9) は、新約聖書の半分を書いた使徒パウロによる言葉です。彼はユダヤ社会の中でエリート中のエリートで、博識があり、育ちが良く、そしてローマの市民権を生まれながらに持つ羨望的と言える人物でした。すべてに自信のある彼にとって、目障りなものがイエス・キリストに追従するクリスチャンの存在でした。彼は狂ったようにクリスチャンを捕え牢にぶち込み、その命さえも奪ったのでした。しかし、怒り狂うパウロはイエスに出会い、180度の変化を遂げ迫害する者からイエスを宣べ伝える者へ変わりました。パウロも周りの人々も考えられない回心であったのです。パウロは真理の表裏を体験したと言えるのです。パウロにしてみれば、誰も経験したことのない世界を見せてもらったのですから、誇ろうと思えば自慢できたのです。しかし、イエスはパウロが「おごる」ことのないようにトゲを与えられました。

私たちも、自分の弱さや欠けを感じる場合があります。けれども、主はその弱さや欠けのあることを含めて、恵みは十分だと語るのです。